



## 住吉神社の歴史を紹介します

住吉神社は、天力須賀の氏神さま(※1)として親しまれており、住吉大明神(※2)と巖島大明神(※2)が祀られています。

天力須賀は、古くから海の恵みを得て発展してきており、江戸時代は漁業と廻船(海運)業が盛んな地域でした。宝暦9(1759)年に船仲間が大阪住吉大社から住吉明神をもらい受け、新しく社殿をつくってお祀りしていました。

その後、現在の本殿(住吉造※3)・拝殿は大正15(1926)年に修築されたものです。

それ以降地域の皆さんや近隣の企業に支えられて今日に至っています。

また、令和元(2019)年12月には地域の皆さんのご厚意により、新たに鳥居が建て替えられました。現在、住吉神社ではお盆に「石取祭り」、秋の例大祭に「秋祭り」、そして正月明けに「どんど」などの行事が行われています。

この天力須賀地区に根差した住吉神社を、地域の皆さんとともに引き継いでいきたいものです。

(※1)自分が住んでいる土地を守る神様

(※2)海運の安全を守る神様

(※3)神社本殿形式の一つ。屋根に反りがなく、切妻造の妻を正面とし、内部が二室になっているもの。

大阪市住吉の住吉大社の本殿はその例。



石取祭



秋祭り

### 富洲原地区 令和6年1月1日現在

面積

2.02 Km<sup>2</sup>

(四日市市24地区内で最小)

世帯数

3,927 世帯

人口

8,286 人

(男性4,118人・女性 4,168人)



夏まつり実行委員長の酒井です。  
台風やコロナ禍で中止だった夏まつり、6年ぶりにやっと開催できました！  
スタッフのみなさん、ご協力ありがとうございました。何ととっても子どもたちの喜ぶ顔が見られてうれしかったです。



はじまりを待つ長蛇の列



会場パトロールの打合せも念入りに



千本引きの準備で中学生も大忙し！



みんなで踊ると  
楽しいね



どれに  
しようかな～



園児の周りはギャラリーがいっぱい！

# 夏まつり 2023 in 富洲原

## 復活めよろこび！！

暑いけどみんなの  
喜ぶ顔がみたくらいから  
がんばります



いらっしゃ～い！おいしいよ～



めっちゃ楽しい♪



盆踊り



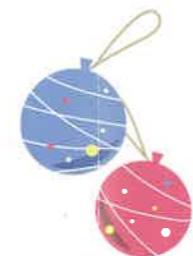
お楽しみ抽選会



スタッフの声

- ・経験のない屋台、みんなで試行錯誤しながらなんとかやれました。
- ・前回よりも5歳年をとって、体力的にもきつけれど、みんなの笑顔で疲れも吹き飛びました。

たくさんとれるかな～



来場者の声



当たった～  
やった～！！



田代会長  
当たり引いて  
くださいね！



どうか当たりますように

- ・久しぶりの夏まつり。なつかしい顔に出会えてうれしいです。
- ・初めてのおまつりで、ゲームをしたり、かき氷を食べたり、友だちと一緒に楽しいです。

昭和の富洲原

昭和34年、伊勢湾台風の災害により住宅と水産加工場を消失するも、落ち込むことなく水産加工業者として再建しました。平成の中頃になって現在の水産加工物や乾物も取り扱う小売業に業務転換し、今ではお客様のSNSなどの評判を得て、地元だけではなく市内各地からも車で来店していただくようになりました。今後も美味しくて安い海産物の提供を続けていきたいです。



松原野球場 リニューアル



2021年12月から2023年2月にかけて、リニューアル工事が行われました。住宅地にファウルボールなどが飛び込まないように、3塁側のネットの高さを8.6mから22mに、1塁側を6.8mから10mに張り替えました。また、内野に新しい土を入れ、ベンチの塗装や物置を設置。シルバー人材センターに管理をお願いしています。



1塁側ネット



3塁側ネット

富洲原地区  
社会福祉協議会会長の  
**田代 和典** です。

今年度は、新型コロナウイルスの影響もほとんど受けることなく、予定した事業をようやく実施することができました。6年ぶりに実施した夏まつりは、予想をはるかに超える参加者がありました。幼児から高齢者まで楽しめるいろいろな行事が、各種団体の皆様の協力のもと、今後とも続いてほしいと強く感じました。

編集委員

委員長 荻子 正明  
副委員長 酒井 寛

委員 水谷 武彦 黒田 公雄 伊藤 則夫  
福田 修二 中西 典子 水谷 雅寛  
水谷 芳春